

つ 世 人 け  
宮 都 字

【題字】宇都宮市長 佐藤栄一様

CONSTRUCTION

vol. 302

2015



『暁翔』 鈴木 泉 様 写真提供





## 平成27年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会  
会長 増 潤 薫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、会員の皆様のご協力・ご支援により、当会が円滑に運営できますことを心より感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、2月の記録的な大雪をはじめ、広島市を襲った大規模な土砂災害や御嶽山の噴火等々、尊い人命・財産を失う自然災害の多い一年でありました。一方、ソチ五輪スキージャンプで41歳の葛西紀明選手が冬季日本勢最年長でのメダルの獲得や、青色発光ダイオード（LED）を開発した名古屋大学教授の天野浩氏等日本人3人がノーベル物理学賞を受賞するなど、明るい話題があった年でもありました。

我が国の景気は、昨年4月に消費税率を8%に引き上げてから、駆け込み需要とその反動により停滞感が広まり、デフレ回復の動きが見られるとは言うものの依然として厳しい状況が続いております。特に、建設業界にとりましては、公共事業費が伸び止む中で受注量の減少や競争激化、ダンピング受注の頻発、更には人手不足や資機材の高騰等と相まって極めて厳しい経営状況にあります。こうした厳しい経営環境にあっても、私ども建設業界は地域の安全・安心な暮らしを支える担い手として、経営者一人ひとりが経営方針をしっかり持ち、人材の確保・育成はもとより、技術力の研鑽、更にはコスト意識を徹底させるなど、身

の丈に合った経営戦略を構築していくことが大切かと考えております。

当協会における昨年の主な活動として、一般社団法人に移行し3年目を迎え「地域住民の安全確保事業」や「地域環境美化事業」、「災害対策事業」等の社会貢献活動を会員一丸となって積極的かつ活発に進めてまいったところであります。また、当協会に併設の事業協同組合では、栃木県発注の「道路及び河川等維持管理統合業務委託」を年間を通して受注し、現在、下期分を鋭意実施中でありまして、今後、確実に実績を上げまして、行政をはじめ地域住民等に信頼されるよう努めてまいりたいと考えております。

また、本年は当協会が昭和21年5月に宇都宮土建業組合として創立後、節目の70周年目にあたります。現在、6月12日に記念式典を挙行することに決定いたしまして、これから本格的な準備を進めていきたいと思っておりますので、皆様に特段のご協力をお願いする次第であります。

結びに、皆様にとりまして、平成27年が明るい未来が築けるような年となりますことを祈念し、年頭に当たっての挨拶といたします。



## 平成27年 新年挨拶



栃木県知事  
福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。  
まもなく東日本大震災から4年となります。この間、私は、震災からの復旧・復興に最優先で取り組んで参りました。皆様の“ふるさととちぎ”への思いが、復興の大きな推進力となりましたことに、改めて深く感謝を申し上げます。引き続き「災害に強い“とちぎ”」の実現に向けて、社会資本の整備を着実に進めるとともに、指定廃棄物の処理や風評被害の払拭など、残された課題の解決に全力で取り組んで参ります。  
さて、今年は、復興から成長への確かな歩みを県内に広く行き渡らせ、皆様が成長の成果を実感できるよう、各種施策を積極的に展開し、計画期間の最終年度を迎える栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の総仕上げを図って参ります。  
我が国は、急速な少子高齢化と人口減少という、かつて経験したことのない大きな課題に直面しています。現在、平成28年度を初年度とする次期プランの策定を進めていますが、こうした課題に真正面から向き合い、未来に希望と誇りを持つ強いビジョンを描いて参ります。2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会、その2年後には、本県で国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が開催されます。この絶好のチャンスに“攻め”の気持ちで、トレーニングキャンプ地誘致や観光誘客などを進めて参ります。  
皆様にも、“ふるさととちぎ”に愛着と誇りを持ち、国内外にとちぎの元気と魅力を発信していただくようお願いするとともに、私も「元気度 日本一 栃木県」の実現に全身全霊を傾けて参りますので、より一層の御理解と御支援をよろしくお願いいたします。  
結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

年頭にあたりまして、皆様の御健康と御多幸を心からお祈りし、御挨拶申し上げます。



宇都宮市長  
佐藤 栄一

本年は、人口減少社会を見据えた「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成と「都市力・財政力」の向上に向け、都心居住の促進やJR岡本駅の橋上駅舎の整備などの「拠点形成の促進」に取り組むとともに、バス・地域内交通・鉄道・自転車などの「総合的な交通ネットワークの構築」の要となる「LRTの整備」につきましましては、平成31年度の開業を目指し、営業主体の確保や軌道の設計などを進めてまいります。  
また、本年4月から施行される「子ども・子育て支援新制度」に向けた保育サービスの拡充や健康寿命の延伸などによる「人づくり・健康づくり」、水戸市・前橋市・宇都宮市・高崎市の北関東4都市を結ぶ自転車イベントの開催による広域観光や中心市街地の活性化などによる「地域経済の活性化」、近年頻発している集中豪雨対策や通学路の安全対策などの「安全・安心なまちづくりの推進」などの重点課題に的確に対応し、ひと、企業、地域団体などの活動が好循環し、持続的に発展するまちの実現を目指し、市政運営に全力を尽くしてまいります。



上三川町長  
星野 光利

宇都宮建設業協会の皆様、あけましておめでとうございます。  
平成27年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。  
宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より本町の発展と町政運営など格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
上三川町は、平成27年に町制施行60周年の節目を迎えます。先人たちの功績に感謝すると共に、町のさらなる発展を誓い、町の将来像である「より安心・安全で活力あるまち 上三川」の実現を目指して参ります。本年においては、教育環境の充実として、「上三川小学校体育館整備」、子育て家庭の支援として、4月から、「子ども医療費現物支給」を中学3年生まで拡大するなど、町民のみなさまが、より元気に暮らしていけるような新たな施策を展開して参ります。  
また、本町の伝統や文化を継承する中で、多くの町民の知恵と活力を集結し、町を大きく発展させていきたいと考えております。そして、今後も引き続き、「町民参画と協働の精神」のもと、町民だれもが住んでよかったと思う、魅力ある町づくりを行って参ります。  
結びに、平成27年が皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 総務委員会 会員等へのより良いサービスへ!

総務委員会の活動としましては、広報誌である「けんせつ宇都宮」の編集及び発行、配布、宇都宮建設業協会会員の親睦旅行の企画・立案、高校生の希望者によるインターンシップの会員各社への受入れ調整等を行っております。

「けんせつ宇都宮」は年3回（1、6、11月）の発行を予定しており、愛りバーとちぎへの参加など当協会の活動レポートや、新社長紹介、年間行事予定等を掲載し、会員や関係する行政機関に向けて発信しています。

親睦旅行は、10月9日～11日の3日間、宇都宮市でも導入を進める動きが本格化しているLRTの視察をメインに、熊本市電、熊本城、福岡市、関門海峡等をめぐる旅行を企画し、22名もの参加者で盛大に開催することができました。

高校生のインターンシップは、宇都宮工業高校や宇都宮白楊高校等計5校より58名の参加希望があり、10月から11月にかけて31社の協会員に受け入れていただきました。

今後も、上記のような活動を中心に、着実に委員会活動を進めてまいります。

（亀和田）

## 建設委員会 地域の安心・安全は私たちが守る!

今年度の建設委員会の活動報告といたしましては、道路河川等管理情報システムを用いた広域災害発生時における緊急出動ネットワークの策定及び使用に関する講習会の開催、並びに急傾斜地の現地調査の実施、河川清掃活動等を行いました。

【7月】川の日クリーンアップキャンペーン及び愛りバーとちぎ河川清掃活動

【8月】宇都宮市総合防災訓練参加

【9月】愛りバー活動

【10月】急傾斜地の現地調査の実施及び報告書の作成

【11月】災害発生時緊急出動における講習会及び演習の開催、土木の日・愛りバー活動実施

【その他】台風飛来等に伴う災害対策本部待機業務

当委員会では、『地域の人々の暮らしの安心、安全を守っている』という崇高な使命感と誇りをもって、地震、台風等の災害発生時に緊急対応ができるよう取り組みを行っております。

（菊池）

## 安全委員会 労働災害0を目指して!

安全委員会の主な活動は、毎月の安全パトロールの実施・建災防栃木県支部並びに宇都宮分会の行事における設営等の協力があります。

安全パトロールにつきましては、会員店社の安全担当にも同行してもらった公開パトロールを3回（7・10・2月）、安全指導者に同行してもらった非公開パトロールを3回、委員会メンバーによる非公開パトロールを6回計画し、これまで確実に実施してまいりました。10月の公開パトロールは宇都宮分会の合同パトロールとして実施し、分会所属の他団体の安全委員の方に加え、安蘇分会運営委員会の方にも参加していただきました。

建災防関連の行事への協力としましては、9月に開催された支部安全衛生大会の会場設営・10月の分会主催の安全対策セミナーの開催に協力いたしました。また、12月には宇都宮労働基準監督署が提唱する「安全文化推進運動」の一環として開催された安全衛生塾に、建災防栃木県支部宇都宮分会として全面協力させていただきました。

これから年度末に向けて繁忙期となり、労働災害が発生しやすい環境となりますので、なお一層気を引き締め、労働災害を未然に防止するために活動を継続してまいります。

（轟）

## 未来の建設技術者育成のために！

一般社団法人宇都宮建設業協会は栃木県教育委員会が実施している高校生のインターンシップ事業に協力した。インターンシップ事業は高校生が実際の産業現場における就業体験をとおして、実質的な知識・技術・技能に触れ、生徒の学習意欲を喚起するとともに、主体的な職業選択能力や高い職業意識を育成することを目的としている。

本年度は、栃木県内5校7学科

宇都宮工業高校環境土木科（17名）

宇都宮工業高校建築デザイン科（14名）

宇都宮白楊高校農業工学科（土木14名、建築3名）

真岡工業高校建設科（土木2名、建築3名）

小山北桜高校造園土木科（2名）

小山北桜高校建築システム科（1名）

栃木農業高校農業土木科（2名）から

計58名の高校生を本会会員企業31社で受け入れ、未来の建設技術者育成のために、指導・教育を実施した。

研修期間は各校各学科ともに月曜日から金曜日までの5日間となっており、参加した生徒は熱心にかつ積極的にさまざまな課題に取り組んでいた。また、インターンシップ参加後の事後アンケートで、「学んだことは何ですか？」の設問に対して、

- ①働くことの厳しさ
- ②働くことの大切さ
- ③仕事に関する勉強の必要性

などを感じた生徒が多数であり、また学校と社会との違いなどを挙げる生徒もおり、本事業が十分に当初の目的を達成することができたと考えられた。

（岩原）



道路構造物の高さをレベルにて測量



トータルステーションの据付に奮闘

宇都宮城址まつり 2014.10.19 



子どもから大人までいろいろの人々とのふれあい

宇都宮建設業青年の会は10月19日(日)、宇都宮城址公園にて開催された「宇都宮城址まつり」において、市民が様々な役に扮して市中心部を練り歩く社参行列に参加するとともに、高所作業車の搭乗体験ブースを出展いたしました。高所作業車による本事業は、総合学習支援活動の一環として、市内の小学生を無料で招待しました。子どもから大人まで200名以上の方が搭乗され、宇都宮市のゆるキャラ（ミヤリー）までもが搭乗し、大変ご好評をいただくことができました。毎年恒例となっている行事への参加により、地域社会への貢献や建設業のイメージアップを図ることができたと思っております。

ご協力いただきました皆様におかれましては、本当にお疲れさまでした。

(佐々木)

宇都宮マラソン大会 2014.11.16 

第28回宇都宮マラソン大会が11月16日(日)、清原中央公園周辺コースを会場に、地元出身でもある赤羽有紀子さんをゲストランナーに迎え、盛大に開催されました。

今年も、宇都宮建設業青年の会では、恒例行事となっているコース設営作業を行いました。大会当日は早朝から会員37名が協力し、ランナーたちの安全と円滑な競技運営に貢献することができました。宇都宮建設業青年の会は、20年にわたりコース設営に参画し、スポーツを通じた地域貢献に大きく寄与してまいりました。

青年の会は今後とも地域貢献に対し積極的に参加協力をしてまいります。

(佐々木)



毎年恒例のカラーコーンの配置

# 新 社 長 紹 介



## 株式会社増渕組 代表取締役社長 増渕勝明

この度、株式会社増渕組代表取締役社長に就任いたしました増渕勝明です。

私は大学卒業後、埼玉の地場ゼネコンで5年間建築関係の業務を学び、その後、増渕組に入社して会社経営について勉強してまいりました。平成26年9月より社長に就任しましたが、建設業界を取り巻く環境はまだまだ厳しく、進むべき道は決して平坦なものではありません。私自身まだまだ経験の浅い若輩者であり、その責任の重さには身の引き締まる思いです。

弊社は創立より60余年間お客様と長いお付き合いができる会社として、また、地域社会に貢献する企業として日々努力してまいりました。その歴史の中で先代・先々代が培ってきた確かな技術力とおお客様の信頼を守りつつ、新たな増渕組としての特色を創成していきたいと考えています。そのためにもこれまで以上に良い製品をより早く、より安く、より安全にお客様へ提供できるよう努めてまいります。また、地球環境保全のため、2010年に取得したISO14001をもとに環境問題にも積極的に取り組んでまいります。

今後も社員一丸となり地域の発展に貢献すべく邁進する所存でありますので、建設業協会様並びに会員企業の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第5回 愛リバーとちぎ 河川清掃活動

## 土木の日・クリーンアップキャンペーン

2014.11.18 火

宇都宮建設業協会（増渕薫会長）は11月18日、宇都宮土木事務所とともに、「土木の日・クリーンアップキャンペーン並びに愛リバーとちぎ第5回河川清掃活動」を実施。

増渕会長は「我々は地元の建設業だからこそできる、建設業の特性を生かした様々な活動を長年にわたり続けてきた。今後も社会貢献活動を実施することにより、地域の建設業の存在や役割をより多くの地域の方々に理解していただけるよう努めたい」とあいさつ。

続いて、竹中弘幸宇都宮土木事務所次長兼企画調査部長も「この活動を通じ、沿道・沿川の皆さんに道路・河川に目を向けてもらい、維持管理を含めた建設事業全般の理解につながれば幸い。当事務所からも各



課から職員が参加しているので、活動をしながら交流が深まることを期待している。安全な作業をお願いする」と、佐藤俊明県土整備部長参事兼宇都宮土木事務所長に代わり、参加者を激励した。

その後、会員企業及び宇都宮土木事務所から総勢約90人がバスで各活動現場へ移動、宇都宮市中心部の大通りや1級河川田川沿いの清掃・草刈りを行い、県都にふさわしい快適な道路・河川環境を取り戻した。

(関)



# 一般社団法人 宇都宮建設業協会

会長 増淵 薫 副会長 菊池 三紀男 竹内 智祐 野澤 充広

(株) 暁 工 務 店  
 アズマ原総業(株)  
 (株) イケダ工務店  
 イナミ工業(株)  
 (株) 入 江 組  
 岩 原 産 業 (株)  
 岩 村 建 設 (株)  
 宇 都 宮 土 建 工 業 (株)  
 馬 上 建 設 (株)  
 王 子 工 営 関 東 (株)  
 (株) 小 川 組  
 (株) カクタ技建  
 梶 並 建 設 (株)  
 片 島 建 設 工 業 (株)  
 上 河 内 建 設 (株)  
 (株) 神 吉 工 業  
 (株) 神 戸 組  
 (株) 菊 一 建 設  
 (株) 菊 地 組  
 キ ョ ウ セ イ (株)

(株) 熊 本 商 店  
 (株) ク ロ ゴ 工 業  
 (株) 興 建 設  
 (有) 古 賀 志 建 設  
 小 平 興 業 (株)  
 三 興 産 業 (株)  
 三 正 建 設 (株)  
 鹿 野 建 設 (株)  
 柴 田 建 設 (株)  
 柴 田 工 業 (株)  
 (株) 新 生 工 業  
 晋 豊 建 設 (株)  
 上 陽 工 業 (株)  
 末 長 建 設 (株)  
 成 常 建 設 (株)  
 大 幹 建 設 (株)  
 (株) 泰 和 工 業  
 (株) 高 田 組  
 (有) 田 重 建 設  
 大 安 工 業 (株)

(有) 大 晃 建 設  
 (株) 千 葉 建 設  
 中 央 技 建 工 業 (株)  
 (株) 津 野 田 土 木  
 (株) テ ッ カ 産 業  
 栃 舗 建 設 工 業 (株)  
 (株) 直 井 工 務 店  
 中 村 土 建 (株)  
 (株) 長 嶋 組  
 日 豊 工 業 (株)  
 (株) 庭 野 建 設  
 (株) 野 澤 實 業  
 野 中 建 設 (株)  
 芳 賀 屋 建 設 (株)  
 (株) 福 原 建 設  
 藤 井 建 設 (株)  
 藤 井 産 業 (株)  
 古 橋 土 建 (株)  
 (株) 星 野 組  
 (株) 堀 江 ソ ー ケ ン

(株) 増 淵 組  
 (株) 鱒 淵 建 設  
 (株) 丸 あ 組  
 丸 山 工 業 (株)  
 ミ ュ キ 建 設 (株)  
 (株) 美 雪 興 業  
 (株) 睦 工 業  
 (株) 元 重 建 設  
 矢 田 建 設 (株)  
 八 幡 建 設 (株)  
 (株) 山 口 組  
 山 本 建 設 (株)  
 陽 西 建 設 (株)  
 横 山 建 設 (株)  
 米 弥 工 業 (株)  
 (有) 若 林 造 園 土 木  
 和 晃 建 設 (株)  
 渡 辺 建 設 (株)

## 「宇都宮支部 団体戦優勝！」 栃建協オーナーズゴルフ大会



10月28日、秋晴れの鹿沼72カントリークラブにおいて、第38回栃木県建設業協会オーナーズゴルフ大会が開催されました。

支部対抗団体戦の連覇を狙った昨年の雪辱を果たすべく、全員が一致団結し臨んだ今大会、見事！優勝杯を奪取いたしました！ (手塚)

団体戦の結果は次のとおり

優 勝	宇都宮支部	準優勝	下都賀支部
三 位	那須支部		

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。株価も上昇傾向にあり、世の中がなんとなく活気づいてきたような気がする2015年。

最近、地球では季節感が感じられなくなるような異常気象や地球温暖化による大型台風発生や竜巻、火山の噴火などもありました。とにかく、災害の規模が大きいにびっくりします。ハリケーン級の台風では家が飛ばされ、大雨の影響では山肌が崩れ民家を飲み込む。昔、学校で死火山や休火山だと教わった山も活火山なのだとか。今はその言葉(死火山・休火山)自体がないんだそうです。約200年前に宝永大噴火がありましたが、もしかしたら富士山もまた大噴火の可能

性があるってことですね。当時の江戸では昼間なのに明かりを灯さなければならぬほど暗く、江戸全体にかなり火山灰が降灰して多数の町民が呼吸器疾患に悩まされたそうです、恐ろしい話ですね。災害が多い近年、とにかく災害に対してのインフラ整備はとても重要だと思いました。

年末にはバタバタと衆議院選挙があり、大方予想どおりの結果で幕を閉じました。この選挙で選出された議員の皆様には、景気をどんどん上げていくような政策を打ち出し、日本国民のために、未来に向かっていく我々の子どもや孫が平和に豊かに生活することができるよう粉骨砕身頑張ってほしいものです。

(荒井規)

